

日本栄養経営実践協会主催 栄養経営実践オンラインセミナー

管理栄養士の病棟配置実現に向けた マネジメントの要諦を学ぶ

10月19日(木)に協会本部主催、西岡心大理事が講師を務めるセミナー「病棟配置に向けた部門運営と教育体制構築のポイント」が開催されました。部門運営、教育体制の構築といったマネジメントに特化した内容にもかかわらず50名を超える管理栄養士が参加、栄養部門の新たな潮流を感じさせました。

管理栄養士の病棟専従体制構築の 第一人者が経験からの学びを伝授

冒頭、西岡理事は自身の所属する長崎リハビリテーション病院では2008年の開院当初から病棟専従管理栄養士制度を導入していたとし、「回復期病棟において病棟専従の管理栄養士に何ができるとかという時代から、手探りで栄養部門の構築と教育を進めてきた。病棟配置はゴールではなく、病棟配置になっ

たからこそ厳しい目で見られるようになり、成果が求められることを、身をもって体験してきた。今日はそのような自分の経験談に基づいてお話ししたい」と語り、講演をスタートさせました。

継続性と栄養管理の質を担保することが インフラとしての病棟常駐のカナメ

西岡理事は、まず「病棟配置とは栄養管理のインフラ整備である」と強調。従来のNST加算等におけるチーム専任の管理栄養士に求められる役割と、病棟に配置された管理栄養士の役割は全く異なるとし、「付加価値としての栄養管理ではなく、栄養管理が恒久的に継続して行われる体制をつくるというところ。そのうえで

保つていくことも不可欠であり、管理栄養士の病棟配置をするということはインフラをつくる覚悟が必要だ」と参加者に訴えました。

そして部門長として最初に考えなければならぬことは「病棟配置で何を目指すのか」を明確にすることだと指摘。病院が持つ機

能、病院の理念、患者層、環境要因等に加え、現在所属している職員の知識や技術といった「自部門の強み」を正しく認識し、現実的なあるべき栄養管理像を明確にすることが、病棟配置を進めていくための第一歩であると述べました。

要だと説きます。しかし、マイルドはすぐに育つものではなく、また最初から持っている人はなかなかいないとし、「まずは業務を覚えてもらう視点

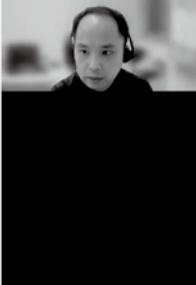
が大事。仕事としてやってもらうなかで、あとからついてくると信じる。いきなりマイルドを求めすぎないことが大切だ」と述べました。

病棟専任管理栄養士の資質については、京セラの稲盛和夫氏が提唱する人生の成功の方程式「人生・仕事の結果＝能力×熱意×考え方」を病棟に当てはめて解説。西岡理事は、「入職した人の強みをみつけることも教育者の大事な視点。『最初からすべてそろっている人は多くはない』という前提に立ち、入職後のやりがいをはかりに伸ばすかという視点を持つことが必要。揺らいでいる職員にしっかりと寄り添い、本人が成長に向けた変化を起こせるようなアクションを周囲が起

すことも重要だ」と説きました。

最後に教育体制の実例として、自身の所属する長崎リハビリテーション病院の事例を紹介した西岡理事。実際に使用しているキャリアパスに基づいた段階別の到達イメージや新人教育、担当患者を受け持つようになるまでの流れ等を解説しました。今後の課題として、経験年数を重ねた中堅職員が増えてきているなか、マネジメント経験をどう積み上げていくのかを模索しながら進めているという現状を述べ、「教育体制に正解はない。自院・自施設の理念や機能、職員の強みや環境を踏まえて、オンリーワンの体制をつくるのが大事」と語り、セミナーを締めくくりました。

病棟配置に向けた部門運営と 教育体制構築のポイント



西岡理事によるマネジメントの講義に50名以上が参加

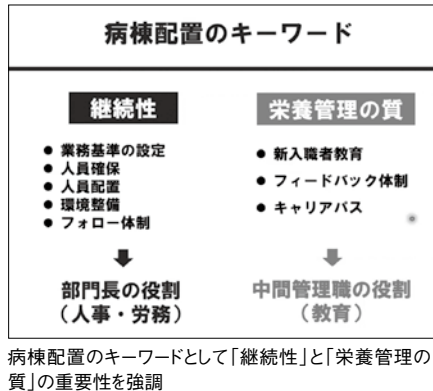
「病棟配置とは栄養管理のインフラ整備である」と強調。従来のNST加算等におけるチーム専任の管理栄養士に求められる役割と、病棟に配置された管理栄養士の役割は全く異なるとし、「付加価値としての栄養管理ではなく、栄養管理が恒久的に継続して行われる体制をつくるというところ。そのうえで

保つていくことも不可欠であり、管理栄養士の病棟配置をするということはインフラをつくる覚悟が必要だ」と参加者に訴えました。

要だと説きます。しかし、マイルドはすぐに育つものではなく、また最初から持っている人はなかなかいないとし、「まずは業務を覚えてもらう視点

が大事。仕事としてやってもらうなかで、あとからついてくると信じる。いきなりマイルドを求めすぎないことが大切だ」と述べました。

病棟専任管理栄養士の資質については、京セラの稲盛和夫氏が提唱する人生の成功の方程式「人生・仕事の結果＝能力×熱意×考え方」を病棟に当てはめて解説。西岡理事は、「入職した人の強みをみつけることも教育者の大事な視点。『最初からすべてそろっている人は多くはない』という前提に立ち、入職後のやりがいをはかりに伸ばすかという視点を持つことが必要。揺らいでいる職員にしっかりと寄り添い、本人が成長に向けた変化を起こせるようなアクションを周囲が起



受講者の声 (アンケートより)

- 部門運営の方向性に迷っていたが、進め方のヒントがたくさんあった。ぜひ実践してみたい。
- 病院の機能に応じた栄養士の位置付けを考えていけばよいこと、新人教育の手順について教えていただき、とても勉強になった。
- これまで、栄養管理の型はあるものの、書面によるマニュアルはなく口頭や現場対応から教育を進めてきていた。今回の講義から、継続的な教育体制づくりにはマニュアルの存在も必要だと思った。また、管理栄養士に必要な資質についての「能力×熱意×考え方」の部分では、このイメージを持つことで、自分が理想としている管理栄養士像が言い表しやすいと感じ、とても参考になった。
- 自施設と同じ規模の話や聞き取りの機会がなかなかなく、とてもありがたい。もっと掘り下げて聞けるといいなと思った。

- 栄養部門の教育体制について具体的に説明があり、わかりやすかった。
- 人材教育は課題としていましたが、感覚的な指導となっていた。臨床経験の年数を重ねながらも内容としては自信がないこともあり、育成について悩みながらも実際に行動にいたらない状態だったが、まずは現状を整理して書き出していき所からはじめて、どういったキャリアプランが練り上げられるのかを考えてみたい。
- 病棟配置を進めるのにあたり必要なノウハウや教育体制についても学べたので、自施設での位置づけに落とし込んできちんとした体制確立につなげていきたい。
- 新人教育体制の作成を求められているところで、現状ゼロベースであり何からどうしたらいいか悩んでいたタイミングで非常にわかりやすい講義を学ばせていただき大変ありがたかった。

★新会員サービス「オンラインサロン」大好評開催中!

言語や文化の違いはあれど人対人の関係は同じ、思いやりをもって接しよう!

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第29回は9月27日(水)18:30より行われました。協会からは宮澤靖代表理事、吉田貞夫理事、真壁昇理事、山下茂子理事、田中智美理事が出席し、参加者からの質問に対しみんなで意見を申し合いました。

この日、最後に紹介されたのは「外国人技能実習生の配属が決まったけど、どう対応すればいい?」という相談でした。理事の先生方からのアドバイスの前に、日清医療食品に勤める栄養経営士の西平有希さんにお話をうかがいました。

全国の病院で給食業務を請け負っている日清医療食品では、ベトナムやミャンマーからの技能実習生を多数受け入れています。やはり言葉の壁があるため、意思の疎通にはとくに気を配っているとのこと。「推し量る、空気を読むということが難しいので、話すときは明確な言葉で伝えることが必要」で、文字が読めない場合は「食札をアイコン化して作業に言語を使わない等の工夫が有効」だと西平さんは話しました。また「説明した後に『わかりましたか?』と聞くと、わからなくても、つい『はい』と返事をしてしまう。返事を鵜呑みにせず、必ず『理解できたことは何ですか?』と内容を確認して欲しい」と参加者に伝えました。

田中理事は、給食会社のスタッフとして外国人が入るときに「院内インフォメーションをしっかり行い、職員が受け入れる風土をつくることも大事だと思う。当院では院長も巻き込んで、病院全体でウェルカムという環境をつくった」と、事前準備の重要性について語りました。

同じく外国人の女性スタッフが院内にいるという吉田理事は「彼女たちはまだ若いのに、言葉の通じない異国の地でがんばっている。何気ない言葉やあいさつでいい、一人ひとりの職員が気軽に声をかけてあげて」とコミュニケーションの大切さを説きました。

宮澤代表理事は「当院にもベトナムの人が10人ぐらいいて、真面目で熱心なので戦力になっている。ただ、日本の文化や常識がわからないことがあるので、日本のルールを伝えることが重要」と話し、「自分や吉田先生は海外留学経験者だからわかるが、一人にされると孤独や絶望を感じることもある。日本語でいいから『おつかれさま』と声をかけて、コミュニケーションをとって」と経験に基づいたアドバイスがありました。

人手不足が深刻な厨房で、日本人以外のスタッフがが増えていくのは必然。気持ちよく協働するために、まずはお互いを理解するところからはじめてはいかがでしょうか。

「オンラインサロン」は今後も月に1回のペースで実施する予定です。全国の栄養経営士や理

事の先生方と直接交流できる、会員ならではの貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

▼9月27日(水)の話題

- ・適切な病棟配置について、業務量の調整はどうしてる? 優先すべき病棟はある?
- ・カリウム制限食の献立、どこまで厳密にしてる?
- ・食種を整理したいけど、どこまで減らせばいいのか悩んでます
- ・資格取得をめざしてるけど要件が厳しくて…どうすればいい?
- ・急に委託給食会社を変更することになって困っています
- ・外国人技能実習生が配属に。どう対応すればいい?

■栄養経営士 オンラインサロン

- ◇開催日時:11月27日(月) 18:30~20:00
12月21日(木) 18:30~20:00
- ◇参加対象:栄養経営士・栄養経営サポーター
- ◇参加費:無料
- ◇開催形式:オンライン配信(Zoom)

※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ・マイク機能を使える
パソコン・タブレット等をご用意ください
※個別の症例の相談にはお答えできません



ヘルスケア・レストラン創刊30周年記念フォーラム開催

病棟常駐時代到来! 診療報酬改定と栄養管理の新たな形

この30年間で、管理栄養士・栄養士の活躍の場である栄養領域は大きく変化しました。管理栄養士の宿願だった病棟常駐時代が、もうそこまで来ています。

この大変革時代のなか、管理栄養士はどんなスキルを磨き、栄養部門のマネジメントのためにどんな手腕を発揮すればいいのでしょうか? この問題を考えるために、オンラインで好評開催中の『ヘルスケア・レストラン』トークライブが、リアル開催されます。

病棟常駐時代を生き残るため、管理栄養士が今何をすべきか、みんなで考えましょう!

2023年11月23日(木・祝)

13:00~16:20(受付開始12:00~)

参加費: 会員、『ヘルスケア・レストラン』定期購読者 3,000円
一般 4,000円 学生 2,000円 ※税込

会場: 東医健保会館 東京都新宿区南元町4番地
(JR総武線信濃町駅より徒歩5分)

対象: 管理栄養士・栄養士・学生

定員: 250名(先着順)

主催: 株式会社日本医療企画

お申込みと詳細はこちらから!→



▼LECTURE 1:RD's ライフ講座

13:00~13:40

管理栄養士としての新しい生き方を求めて

高崎美幸氏(東葛クリニック病院 将来構想戦略室CA、松戸医師会 松戸在宅医療・介護連携支援センター/栄養経営士)



▼LECTURE 2:周術期と栄養管理

14:00~14:40

術前術後の栄養介入と管理栄養士に期待すること

谷口英喜氏(済生会横浜市東部病院 患者支援センター長・栄養部部長)



▼LECTURE 3:病棟常駐の意義と覚悟

15:00~15:40

入院栄養管理体制加算と管理栄養士の役割

宮澤靖氏(東京医科大学病院 栄養管理科 科長/日本栄養経営実践協会代表理事)



▼▼リアルトークライブ:病棟常駐時代と栄養管理のアウトカム

15:50~16:20

回答者:宮澤靖氏、谷口英喜氏、高崎美幸氏
司会:佐々木修氏(『ヘルスケア・レストラン』編集長)

※協賛企業のブース展示やサンプル配布なども予定あり!

株式会社日本医療企画:セミナー事務局(担当:上田・藤本) TEL:03-3553-2885

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

研究会

第18回 薬局管理栄養士研究会

薬局・ドラッグストアで活躍する管理栄養士の情報交換・連携を目的とした薬局管理栄養士研究会が「薬局管理栄養士のそれぞれの課題 ～解決に向けて今日からできること～」をテーマに、オンラインによる情報提供、口頭発表、グループディスカッションを行います。

- 日 時：2023年11月18日(土) 13:30～17:40
- 登 壇：内山貴雄氏(株式会社杏林堂薬局)
南野知子氏(株式会社パル・オネスト)
- 対 象：薬局・ドラッグストアに勤務する管理栄養士・栄養士・事業管理者、管理栄養士・栄養士専攻の学生
- 参加費：一般:3,500円
- お問い合わせ：第18回薬局管理栄養士研究会事務局(担当:小口)
a-oguchi@forall.jp



協会事務局より

2023年12月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年12月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内をメールでお送りしております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。なお、今回からメールのご案内・オンラインでの手続きとなります。用紙を希望される方は、事務局までご連絡ください。

- 年度会費：有効期限が2022年12月20日～2023年12月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2020年12月20日～2023年12月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- 支払期限：11月19日までに指定口座に振込
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-3553-2903

セミナー情報

日本褥瘡学会 褥瘡栄養対策委員会×ニュートリー共催 エキスパートから気軽に学ぼう!ミニレクチャー

褥瘡学会で人気のミニレクチャーが、学会員以外も参加可能なオンラインセミナーとして開催されます。「改めて見直そう 創傷と栄養素介入のいろは 2023」をテーマに、30分のミニレクチャーと質問コーナーが予定されており、本協会の真壁理事も登壇されます。

- 日 程：2023年11月21日(火) 19:00～20:00
- 司 会：真壁 昇氏(関西電力病院 栄養管理室長、日本栄養経営実践協会 理事)
- 講 師：水野英彰氏(医療法人社団悦伝会 目白第二病院 副院長)
- 開催形式：オンライン(Zoomライブ配信) ※アーカイブなし
- 定 員：500名
- 参加費：無料
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 関西支社
(担当:喜津木・新免)
TEL:06-7660-1761



セミナー情報

栄養士のためのスキルアップセミナー 高齢者の幸せな人生を彩る食支援を考えよう!

病院や介護事業所の管理栄養士・栄養士の方々を対象にしたスキルアップセミナーで、今回は、「高齢者の食支援」をテーマに、会場&オンラインのハイブリッドで開催。栄養士は現場で「何ができるのか」「何をすべきか」についてみんなで考えます。

- 日 程：2023年12月10日(日) 13:00～16:30
- 講 師：西山順博氏(医療法人西山医院 理事長・院長)
房 晴美氏(羽衣国際大 人間生活部食物栄養学科 非常勤講師)
- 会 場：本町第2ビル2Fセミナールーム(大阪市中央区本町2-2-5)
※Zoomでの配信あり
- 参加費：会員: 3,500円 / 一般:4,500円
※会員には「栄養経営士」「医療経営士」「介護福祉経営士」が含まれます
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画
関西支社(担当:喜津木・新免)
TEL:06-7660-1761



★情報掲示板に掲載するイベント情報を募集中!
会員・法人賛助会員の皆さまからの情報をお待ちしています!

2023年度「栄養経営士」資格認定基礎講習 仙台会場(会場/WEB)

業務内容・給食管理を見直し「稼げる栄養部門」になろう!

参加受付中

開催日: 11月18日(土) 10時～17時

形 式：現地会場とオンラインのハイブリッド

受講料：【一般】8,500円 【会員】5,100円 ※税込

会 場：ハーネル仙台5F いちよう

(宮城県仙台市青葉区本町2-12-7)



講師：宮澤 靖

一般社団法人日本栄養経営実践協会 代表理事
東京医科大学病院栄養管理科 科長

基礎講習のお申込み・
詳細はこちらから➡



一般社団法人 日本栄養経営実践協会
The Japan Association for Nutritional Management Practice